「本田あきこ　オレンジ日記」８月送付分

来年度予算案の編成に向けて

参議院議員・薬剤師　本田顕子

猛暑の中で行われた第 26 回参議院議員通常選挙が終わり、8 月 3 日から 3 日間の日程で臨時国会が召集されました。今国会は議席の指定、議長の辞任と選挙、副議長の選挙等の人事案件が主になります。

選挙が終わり、議員の事務所となる参議院議員会館には、議員を辞された方の退室と、新しい議員の入室があわただしく行われました。私たち薬剤師にとっては、薬剤師・神谷まさゆき参議院議員の誕生を嬉しくお迎えしました。

さて、国会が動き出すに当たり、党内の勉強会も再稼働です。コロナ対策本部、厚生労働部会、政調全体会議といった要となる勉強会が開催されました。来年度予算の概算要求に当たっては、7 月 27 日に党本部で開催された政調全体会議において「骨太方針 2022 に基づき、経済・財政一体改革を着実に推進する」としながらも、重要な選択肢を狭めることがあってはならない、と明記されました。7 月 29 日の閣議決定の後、各省庁から 8 月末日までに予算の要望が出されます。

私たちにとって一番気になり、また政府としても予算規模的に見て一番大きい年金・医療について、どのような予算付けになるか注視していかなければなりません。7 月 27 日には、日本薬剤師会の要望をお聞かせいただきました。予算に関する要望としては、電子処方箋など薬局におけるデジタル化への対応に関する財政支援と生涯学習の推進。この他、税制改正に関する重点要望としては、新型コロナウイルス感染症により経営が悪化した薬局を対象とした支援策、薬価の引き下げに伴う在庫医薬品の資産価値減少に対応した支援策がありました。しっかり読み込み、今後の発言に生かしてまいります。

新しい体制の下、これまでの政策を繋ぎ、進展させていけるように頑張ってまいります。